



VOL. 155

令和4年7月11日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

〒989-6117 大崎市古川旭四丁目1番地1号

TEL (0229) 91-0727 (地域農業班)

(0229) 91-0726 (先進技術班)

FAX (0229) 23-0910

HP <https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

E-mail osnokai@pref.miyagi.lg.jp

おおさき ～大きい輪、和、話～ Osaki



子実用とうもろこし巡回指導（大崎市）



令和4年度アグリテック活用農業推進セミナー ～自動操舵システム編～

ここ大崎の地には、先人の知恵と地まぬ努力により、巧みな水管理の仕組みが形づくられ、世界農業遺産に認定された豊饒の大地が広がっています。そして、農の営みにより豊かな環境が守られ、食糧供給や地域経済を支える重要な役割を担っています。この大地と農の営みを後世にしっかりと繋いでいく必要があります。

一方、国民の人口減少や高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の発生拡大を背景に、昨年は米の需給が緩み、大幅に米価が下落したほか、今年は海外事情や円安の影響で生産資材や燃油、飼料の高騰が続くなど、農業を巡る情勢は多方面からの影響を受けて刻々と変化しています。

このような情勢変化に対応するため、水田における大豆、麦、園芸作物、飼料作物の安定生産、耕畜連携、農地集積やアグリテックによる省力・低コスト化を進めるほか、6次産業化、食産業や観光との連携による高付加価値化の取組等が一層求められています。当地域では今年新たに、子実用とうもろこしの大規模実証が全国に先駆けて始まりました。これは、主食用米からの転換や省力化、輪作による生産性向上、飼料費低減、国産飼料の生産拡大を目指した果敢な取組であり、新しい視点で地域課題の解決につなげるイノベーション（新しい切り口）の一つであると考えます。

普及センターでは、大崎耕土を上手に活かしつつ、将来を見据えてイノベーションを創出し続ける大崎農業を、地域とともに進めてまいります。

大崎農業改良普及センター 所長 佐藤 浩也

情勢変化に対応した
イノベーションの創出

21世紀元気農業の発信！ ☆☆令和4年度普及指導計画の紹介☆☆

**大崎農業改良普及センターでは、
4つのプロジェクト課題を設定し活動します**

課題名：「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体による えだまめの産地育成【継続】

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市
対 象：JA古川管内2組織 法人経営体（1）、任意組合（1）

主な活動：

- ・有望な新規早生品種の選定，葉面散布による増収技術の定着，雑草防除体系の確立により，えだまめの栽培技術確立を支援します。
- ・産地拡大に向けた新規栽培者の確保を図るため古川地域における経営指標を作成します。
- ・広報活動や視察研修の実施により，古川えだまめ販売力強化に向けた活動を支援します。



えだまめ研修会

課題名：ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と 環境にやさしい栽培技術の取組拡大【新規】

活動期間：令和4～5年度（2カ年） 関係市町：加美町，色麻町
対 象：個別経営体（4），法人経営体（2）

主な活動：

- ・冬期の出荷安定化のために，囲い栽培に適する品種選定や省力技術導入の習得を支援します。
- ・混合堆肥複合肥料の効果を明らかにし，導入を支援します。
- ・生産の安定化を図るために，ほ場排水性の改善や雑草の適期防除の実践を支援します。
- ・法人経営体の経営改善や従業員の意識向上を図るため，GAP実践を支援します。



排水対策実演会

課題名：直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売【継続】

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市，加美町
対 象：JA加美よつば個別経営体（5），あ・ら・伊達な道の駅出荷者（13）

主な活動：

- ・すでに栽培を行っている生産者の方々の販売に向けた支援を行います。
- ・新規栽培者や植栽後間もない生産者の方々の技術向上を行います。
- ・これまで販売を行っていなかった生産者の方々の収量・品質の向上を図るとともに，直売所での販売実現に向けた支援を行います。



ジベレリン処理前の房づくり

農業は、周りに配慮し正しく使用！

課題名：下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展【継続】

活動期間：令和3～4年度（2カ年） 関係市町：大崎市

対 象：下真山地区担い手候補者 法人経営体（1）、個別経営体（12）

主な活動：

- ・将来にわたり、中山間地域において、収益性の高い営農が継続できるように、地域の営農計画づくりを支援します。
- ・若手を中心とした担い手の法人化を目指し、専門家と連携した研修会を開催し、担い手育成を支援します。
- ・園芸品目の選定や作付け計画の作成など、地域にあった高収益作物の選定や栽培技術の習得を支援します。
- ・中山間地域における生産物の安定生産に向けた地域ぐるみの鳥獣害対策について支援します。



地域の合意形成に向けた話し合い

大崎農業改良普及センターの重点活動**1：新規就農者の早期経営安定化**

地域の担い手が減少する中、新規就農者を確保・育成することにより、新たな担い手としての定着を支援します。

2：なすの生産拡大に向けた栽培技術の向上

土壌病害対策の技術導入や環境データに基づく栽培管理技術をさらに普及拡大させるとともに、新たな省力栽培技術の導入により更なる生産拡大を支援します。

3：米価下落に対応した稲作安定生産の推進

金のいぶき、だて正夢、地域ブランド米、酒造好適米などの需要に応じたコメの高品質安定生産支援のほか、乾田直播栽培等の省力化・低コスト化への取組を支援します。

大崎4Hクラブが地域の小学生向けに農業体験イベントを実施しました

大崎4Hクラブでは、令和4年6月5日（日）に大崎生涯学習センターとともに「親子でいっしょに農業体験&家庭菜園講座、えだまめを育てよう」を開催しました。大崎地域在住の小学生とその親を対象に、農業へ興味を持ってもらうことや、食育を目的として毎年取り組んでいるイベントです。

今回は、親子20組、約40人がえだまめのは種と夏野菜の定植を行いました。イベントに参加した親子は、4Hクラブ員から、えだまめのは種や苗の定植方法の説明を受けながら、いきいきと作業に取り組んでいました。

今後は管理作業や家庭菜園講座を行い、8月には収穫体験を行う予定です。



認定農業者の国・県認定が始まっています

認定農業者の認定を受けるためには、活動する市町村ごとに農業経営改善計画書の申請手続きが必要です。令和2年4月から複数市町村で農業を営む農業者の場合は、営農する区域ごとに、市町村に代わって国や県が農業経営改善計画の認定手続きを一括で行っています。

現在認定を受けている方は、直ちに変更する必要はありませんが、更新時期が近づいた際は、ご検討ください。なお営農する区域ごとの申請先は以下のとおりです。

	申請先	営農する区域
1	各市町	各市町内だけの場合
2	北部地方振興事務所農業振興部	大崎圏域の複数市町にまたがる場合 (大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)
3	宮城県農政部農業振興課	県内の複数圏域にまたがる場合
4	東北農政局経営・事業支援部担い手育成課	東北の複数県にまたがる場合
5	農林水産省経営局経営政策課	東北以外の複数県にまたがる場合

営農区域ごとの農業経営改善計画書申請先

農薬危害防止運動実施中

宮城県では、6月1日～8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適正使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。

1 周辺環境や近隣住民に配慮しましょう

周辺に農薬が散布しないように風向きや気象条件に注意しましょう。特に住宅地等では適切な散布作業に加え、事前周知や作業時の看板設置等により十分配慮しましょう。

2 農薬容器のラベルをよく読みましょう

「対象作物」「適用病害虫」「散布濃度・量」「使用時期・回数」などを守りましょう。

3 使用・販売する農薬の農薬登録を確認しましょう

「農林水産省登録第〇〇〇〇号」の表示がないものは使用・販売できません。

4 土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤等）の取扱いに注意しましょう

周辺に揮散しないよう被覆しましょう。作業者自身が被ばくしないよう専用マスク、手袋等を使用しましょう。

5 農薬の容器を移し替えたりせず、鍵のかかる場所に保管しましょう

誤飲・誤食を防ぐため、農薬を飲食品の容器に移し替えることは絶対に避けましょう。

6 農薬散布作業中・作業後の事故に注意しましょう

マスクや防除衣の装着、強風時は中止、長時間散布しないなどの基本を守りましょう。

北部地方振興事務所農業振興部（大崎農業改良普及センター）

調整指導班：人・農地プラン事業関係、農業振興地域整備・農地法、農業経営基盤強化促進法、農業金融、農業委員会、農協、グリーン・ツーリズムに関すること

農業振興班：経営所得安定対策、環境保全型農業支援対策、農作物の生産振興対策、アグリビジネス・6次産業化、農薬・肥料の届出、農産物認証表示制度、エコファーマー認定に関すること

地域農業第一班：地域農業振興計画推進、地域農業を担う組織の育成、多様な担い手の確保及び育成、農村振興に関すること

先進技術第一班：経営管理高度化の普及指導、農作物の生産技術改善の普及指導、主要農作物の種子生産指導、農産物の流通及び加工、放射性物質の技術対策